

神奈川の主な災害

(災害対策課)

1 風水害

年月日	種別	被害状況	気象概要
昭23.9.16	風水害 高潮 (アイオン台風)	県西部山岳地帯で豪雨があり、これによる洪水が起きた。また、相模湾・東京湾で高潮が発生し、大きな被害が出た。 死者24 行方不明6 負傷者36 家屋全壊49 半壊123 流失104 床上浸水839 床下浸水2,923 田流出・埋没234ha 畑冠水1,666ha 道路62 橋梁99 堤防決壊227 船舶被害73	マーシャル群島で発生、潮岬の沖合で北東に転向。伊豆半島南端をかすめ、富津木更津間に上陸、銚子の北を通過した台風による。 最低気圧966.7mb 最大風速25.8m/s (横浜) 降水量(14~15日,mm) 横浜158 真鶴218 小田原213 酒匂189 藤沢137 鎌倉180 葉山162 三崎162 大船167 戸塚180 厚木162 与瀬356 鳥屋465 青山381
昭24.8.31 ~9.1	風水害 高潮 塩風害 (キテイ台風)	暴風雨による被害と共に、台風 の中心通過時刻が満潮時であ ったため、高潮による大きな被 害が発生した。 死者21 行方不明1 重傷30 軽傷54 家屋全壊558 半壊2,005 流失78 床上浸水4,945 床下浸水8,945 田畑流出・埋没33町歩 冠水734町歩 道路60 橋梁23 堤防決壊85 山(崖)くずれ19 鉄道被害11 船舶被害218	マーカス島付近で発生、時速25kmで 北北西に進み、鳥島付近で北西に向 きを変え、大島の西を通過し小田原 付近に上陸、新島から日本海に抜 けた台風による。 最低気圧981.3mb 最大風速35.2m/s (横浜) 降水量(30~31日,mm) 横浜54 真鶴51 湯本134 秦野81 大山313 松田129 三崎81 葉山63 大船77 厚木101 二宮90 与瀬200 小田原129 道志420
昭27.6.22 ~23	風水害 (ダイナ台風)	死者4 負傷者8 行方不明1 住家全壊29 半壊23 床上浸水57 床下浸水1,073 堤防決壊127 橋梁3 道路221 山くずれ85 崖くずれ109 田畑流出・冠水155町歩 船舶被害8	フィリピン東方海上で発生、沖縄を かすめ浜名湖付近に上陸、静岡の北 方、厚木付近を通過して鹿島灘に抜 けた台風による。 最低気圧984.5mb 最大風速21.0m/s (横浜)
昭28.7.26	地変	午前10時10分頃、箱根早雲山 北面の山頂部、長さ約200m、幅 100m、厚さ20mが崩壊し、須沢 溪谷に押し出し、80万m3の土石 が約2kmに渡り山津波となって	硫黄や硫化水素ガスによる岩石の激 しい変質作用を起こしている地盤に 626.3mmの連続降雨があり、地下水 位が異常に高まり温泉余土が著しく 膨潤したため地滑りとなった。

年月日	種別	被害状況	気象概要
		流下した。 死者10 負傷者10 家屋倒壊1 砂防堰堤埋没・破壊17 林野埋没7ha 道路1	
昭31.10.30 ~31	水害	短時間に大雨が降ったため大 きな被害が発生した。 死者9 負傷者23 建物全壊37 半壊62 床上浸水1,438 床下浸水4,824 田畑冠水15ha 道路11 山(崖)くずれ42	南岸沿いの前線及びこの前線上の低 気圧の通過による。 最低気圧1,003.7mb 最大風速10.1m/s (横浜) 降水量(30~31日,mm) 厚木103 松田170 鎌倉132 与瀬87 二宮67
昭33.9.26 ~27	風水害 (台風22号)	この台風は伊豆半島に未曾有 の被害を起こし、「狩野川台 風」と呼ばれた。 死者93 負傷者142 行方不明1 建物全壊321 半壊580 流失13 床上浸水16,991 床下浸水48,766 田畑流出・埋没69町歩 冠水3,427町歩 橋梁19 堤防決壊44 山(崖)くずれ821 鉄道被害17 通信施設被害1,031 船舶沈没2 り災世帯数17,273 り災者数65,719 農作物関係(億円) 水稲倒伏冠水3.1 陸稲0.5 果樹類0.48 その他計7.58	グアム島東方海上で発生、最盛期は かなり長かったが、伊豆半島に近づ くにつれ急速に衰えてきた。大島の 西方から江の島に上陸、横浜、東京 をとり鹿島灘にぬけた。 最低気圧968.5mb 最大風速28.8m/s (横浜) 降水量(25~26日,mm) 真鶴107 二宮141 鎌倉261 大楠213 三崎240 川崎317 日吉310 都田377 与瀬313 鳥野404 松田87 大仏89
昭36.6.24 ~29	水害	この集中豪雨は各地にかけ崩 れを起こし、また中小河川の多 くが氾濫して、低地帯は広範囲 にわたって浸水した。 死者57 負傷者82 家屋全壊274 半壊450 流失1 床上浸水12,997 床下浸水28,992 田畑流出・埋没、冠水5,779ha 道路178 橋梁8 堤防破損203 山(崖)くずれ863	梅雨前線の活動が熱帯性低気圧の影 響を受け、活発化したもの。 降水量(24~28日,mm) 真鶴420 三崎222 厚木261 秦野393 仙石原469 溝ノ口151 湯本464 与瀬297 大仏527 二宮277 松田337 大山532

年月日	種別	被害状況	気象概要
		鉄道被害13 通信施設1,063	
昭40.9.17	風水害 (台風24号)	死者2 負傷者6 床上浸水515 床下浸水3,768 山(崖)くずれ143 通信施設被害498 耕地冠水19,201ha 被害総額911,323千円 り災世帯581 り災人員2,134	潮岬から渥美半島に上陸、その後関東北西部を北北東に進んで、青森方面に去った台風による。 最低気圧979mb 最大風速21.7m/s (横浜) 降水量(16~18日,mm) 横浜143 三崎13 青山125 芦ノ湯186 都田52 溝ノ口45 厚木60 鎌倉149 二宮35 大山49
昭41.6.28	風水害 (台風4号) 昭41.6.28 災害救助法適用 適用地 横浜市 鎌倉市	死者39 負傷者80 全壊(流出)131 半壊119 一部損壊330 床上浸水14,274 床下浸水38,806 山(崖)くずれ1,223 通信施設被害10,522 道路1,181 堤防決壊320 耕地冠水6,248.9ha り災世帯数17,293 り災者数62,888 被害総額3,954,000千円	23日発生した台風4号は、28日御前崎の南海上約250kmを通り、八丈島、房総沖から三陸沖に抜けたが、これより先に本州中部にあった梅雨前線が南下していたため、台風の通過により刺激されて各地に大雨をもたらした。 最低気圧982.1mb 最大風速17.7m/s (横浜) 降水量(27~29日,mm) 横浜265 三崎173 青山350 芦ノ湯406 都田346 溝ノ口233 厚木253 鎌倉226 二宮22 大山296
昭45.7.1	水害	7月1日早朝から数時間のうちに100~200mmという記録的集中豪雨となり、がけ崩れその他の被害が生じた。 死者5 負傷者9 家屋全壊10 半壊8 一部損壊29 床上浸水435 床下浸水5,010 非住家10 田畑冠水5,779ha 農道9 道路1 橋梁1 山崩れ193 鉄道被害6	梅雨前線の活動が熱帯性低気圧の影響を受け活発化したもの。 降水量(30~2日,mm) 横浜216 大山275 剣ヶ崎125 秦野133 溝ノ口121 横須賀184 湯本135 上溝149 鳥屋152 鎌倉188 半原242 小田原148
昭46.8.30	風水害 (台風23号)	死者2 負傷者2 全壊1 半壊3 床上浸水425 床下浸水4,006 田畑冠水69ha 道路31 がけ崩れ82	南鳥島南西海上で発生、九州南沖で最盛期となり、九州上陸後衰え始め、四国東部、近畿を通過、遠州灘を東進し、房総半島を横切り鹿島灘を東北東に進んだ。

年月日	種別	被害状況	気象概要
			最低気圧986.4mb 最大風速13.0m/s (横浜) 降水量(30~1日,mm) 横浜192 湯本365 横須賀132 鳥屋381 秦野266
昭47.7.11 ~12	水害 昭47.7.12 災害救助法適用 適用地 山北町	死者6 行方不明3 負傷者28 家屋全壊76 半壊26 床上浸水946 床下浸水4,464 田畑444ha 道路606 がけ崩れ299	梅雨前線及び湿舌の影響によりその活動が活発化され、県北西部に強い雨をもたらした。 降水量(11~12日,mm) 横浜14 厚木92 川崎16 大山225 横須賀15 塔ヶ岳516 平塚21 城山370 箱根81 津久井290 相模原185
昭47.9.14 ~15	風水害	死者3 負傷者15 家屋全壊2 半壊17 床上浸水998 床下浸水7,753 田畑996ha 道路478 がけ崩れ311	低気圧に伴う前線活動と台風接近によって大量の雨に見舞われた。 降水量(14~15日,mm) 横浜103 厚木154 川崎74 平塚119 横須賀123 箱根347 津久井272
昭48.11.9 ~10	水害	死者2 負傷者6 家屋全壊7 半壊13 床上浸水2,805 床下浸水7,899 道路349 がけ崩れ373	低気圧に伴う前線活動により、県下沿岸都市部に強い雨をもたらした。 降水量(9~10日,mm) 横浜179 小田原87 川崎125 厚木111 横須賀188 塔ヶ岳68 鎌倉240 明神岳48 藤沢162
昭49.7.6 ~8	水害 昭49.7.8 災害救助法適用 適用地 横須賀市	死者13 負傷者28 全壊126 半壊71 床上浸水7,093 床下浸水11,615 道路709 河川321 がけ崩れ1,873 り災世帯8,408 り災者数27,857	台風8号は8日日本海中部に達し、本県を通過中の梅雨前線を刺激し、大雨を降らせた。 降水量(6~9日,mm) 横浜108 横須賀252 厚木149 小田原176 鎌倉172 川崎105 元箱根225 相模湖95
昭51.9.8 ~11	風水害 (台風17号) 昭51.9.9 県災害対策 本部設置	死者3 負傷者4 全壊12 半壊7 床上浸水4,312 床下浸水14,818 道路624 河川168 がけ崩れ336 り災世帯4,792 り災者数16,214	大型の台風17号が九州に接近し、県内には南からの暖湿気流が入り、湘南地方から相模川の谷を通り県北部に集中的な大雨をもたらした。 降水量(8~10日,mm) 長津田438 元石川399 平塚248 厚木122 相模原244 津久井79

年月日	種別	被害状況	気象概要
昭54.10.19	風水害 (台風20号)	死者4 重傷17 軽傷102 全壊8 半壊327 一部損壊3,784 床上浸水579 床下浸水1,299 非住家1,437 田畑冠水3,095 道路713 河川222 がけ崩れ224 り災世帯1,448 り災者数4,246	小田原40 横須賀4 大型台風20号は、19日9時40分頃和歌山県白浜町付近に上陸し、その後時速70～75kmの猛スピードで、名古屋、岐阜、長野を通過し、15時頃三陸沖へ抜けた。このため、県下では19日4時頃から雨が断続的に強まり、ピークの13～14時に各地に強風と大雨をもたらした。 降水量(18～19日,mm) 厚木171 小田原188 日吉134 三浦146 相模湖277 相模原202 玄倉332 平塚129 芦ノ湯324
昭57.8.1 ～2	風水害 (台風10号)	死者7 重傷4 軽傷14 全壊10 半壊20 一部損壊509 床上浸水142 床下浸水301 非住家813 田畑冠水等14.9ha 道路187 河川78 がけ崩れ125 り災世帯325 り災者数804	台風10号は、8月1日午後からスピードを速め、2日0時頃愛知県渥美半島西部に上陸し、同日午後日本海に抜けた。このため県下では、1日昼前後から雨が強くなった。 最大風速19.6m/s 降水量(1～2日,mm) 芦ノ湯514 玄倉375 相模湖315 小田原168 相模原165 厚木157 横浜86 三浦83
昭57.9.10 ～12	風水害 (台風18号)	死者4 重傷11 軽傷25 全壊36 半壊35 一部損壊351 床上浸水5,082 床下浸水11,162 非住家1,005 田畑冠水等1,427ha 道路414 河川203 がけ崩れ477 り災世帯5,874 り災者数18,580	台風18号は、10日頃より進路を北東に変え、12日18時静岡県御前崎付近に上陸し、関東、東北、北海道の各地方を縦断し、13日昼過ぎオホーツク海に抜けた。このため県下では、上陸前の10日から激しい雨が降り始め、特に12日13～16時の間に各地で時間雨量30～40mmの大雨が降った。 最大風速18.1m/s 降水量(10～12日,mm) 芦ノ湯500 相模湖414 玄倉347 相模原317 江ノ島308 日吉306 厚木305 横浜289 三浦207
昭60.6.30	風水害 (台風6号)	死者1 重傷1 軽傷6 全壊3 半壊28 一部損壊1,040 床上浸水14 床下浸水241 田畑冠水等1,446ha 文教施設128 道路216	台風6号は、7月1日3時静岡県田子ノ浦に上陸し、御殿場付近から県西部を駆け抜け、立川市付近を通過して7時頃いわき市沖に抜けた。このため、29日夕方から梅雨前線が刺激され雨となり夜半に強い雨となった

年月日	種別	被害状況	気象概要
		橋梁2 河川46 港湾5 清掃施設4 がけ崩れ75 鉄道不通1 船舶2 り災世帯1,400 り災者数4,502	30日15時頃から台風の接近に伴い再び雨が激しくなり、22時から1日3時頃が最も激しくなった。 降水量(29～1日,mm) 横浜169 箱根349 丹沢湖303 相模湖249
昭61.3.23	風雪害 昭61.3.23 県災害対策 本部設置	重傷2 軽傷27 全壊3 半壊7 一部損壊62 非住家34 道路1 がけ崩れ3 水道659,851 電気320,000 り災世帯10 り災者数42	発達した低気圧の通過に伴い、県下では3月23日10時頃から雨が雪に変わり、各地に降雪をもたらすとともに、北よりの強い風が吹き荒れた。 降雪量(23日,cm) 横浜10 大和16 藤沢12 箱根42 相模原26 相模湖12
平成元.8.1	風水害 (台風12号)	死者6 重傷5 軽傷7 全壊1 一部損壊2 床上浸水738 床下浸水1,715 非住家32 道路3 がけ崩れ38 鉄道不通1	7月31日夕方から8月2日朝にかけて、台風12号に伴う雨雲が三陸沖にある高気圧の縁辺を回り込む形で県下に侵入し、強雨となった。1日の0時頃から特に激しくなり、日吉では2時に67mmの最大1時間降水量を示した。川崎市高津区では2度にわたるがけ崩れが発生し、住家1戸が全壊した。そのため居住者と救出中の消防隊員が二重に遭難した。 降水量(31～2日,mm) 横浜235 江ノ島196 相模原133 日吉265 海老名166 平塚146 小田原119 三浦221 箱根138 丹沢湖78 相模湖135
平成3.9.19 ～20	風水害 (台風18号)	死者2 重傷1 軽傷4 住家全壊2 半壊3 一部損壊32 床上浸水537 床下浸水1,523 非住家128 道路36 橋梁2 河川36 がけ崩れ272 り災世帯591 り災者数1,852	ツバメ諸島で発生した台風18号は、19日20時頃銚子市の南東約50kmの海上まで接近し、20日9時頃三陸沖から東へと抜けた。 最低気圧987.5mb 最大風速11.9m/s (横浜) 降水量(19～20日,mm) 相模湖211 相模原354 日吉223 丹沢湖245 海老名264 横浜227 平塚208 箱根255 小田原234 江ノ島211
平成8.9.22	風水害 (台風17号)	死者3 重傷5 軽傷36 住家全壊2 半壊22 一部損壊1,261 床上浸水8	フィリピンの東海上で発生した台風17号は、発達しながら北東に進み、22日15時頃千葉県東海上で関東地方に最接近、その後北北東へ進み

年月日	種別	被害状況	気象概要
		床上浸水 25 非住家 186 学校 33 病院 3 道路 19 河川 9 がけ崩れ 67 鉄道不通 1 水道 586 電話 116 電気 105,930 ブロック塀 17 り災世帯 49 り災者数 82 被害総額 481,208 千円	同夜には三陸沖へ抜け、本州から遠ざかった。 最低気圧 977.8hPa 最大風速 22.2m/s (横浜) 降水量 (22 日,mm) 横 浜 226 日 吉 213 箱 根 210 相模原 200 三 浦 187 相模湖 178 海老名 174
平 11.8.14	水 害	山北町玄倉川、津久井町道志川で増水のため中州に取り残され、その後流されたキャブが死亡するなどの被害が発生した。 死者 15 軽傷 4 一部損壊 2 床上浸水 84 床上浸水 46 非住家 3 畑流出・埋没 0.04ha 道路 23 河川 11 がけ崩れ 7 り災世帯 112 り災者数 214 被害総額 765,182 千円	紀伊半島の南海上で発生した熱帯低気圧の通過に伴い、県内の広い範囲で大雨となり、特に県西部各地で集中豪雨に見舞われた。 降水量 (14 日, mm) 相模湖 302 相模原 298 日 吉 121 丹沢湖 229 海老名 172 横 浜 101 平 塚 119 辻 堂 137 小田原 126 三 浦 133
平 14.10.1 ～2	風 水 害 (台風 2 1号)	死者 1 重傷 1 軽傷 10 住家全壊 1 一部損壊 38 床上浸水 37 床上浸水 332 非住家 3 道路 2 港湾 4 がけ崩れ 10 鉄道不通 1 電気 5,902 ブロック塀等 1 り災世帯 38 り災者数 103	マリア諸島付近で発生した台風 21 号は、1 日 20 時頃三浦半島を通過、20 時半頃川崎市府付近に上陸し、その後関東東地方から東北地方を足早に北上した。 最低気圧 961.1hPa 最大風速 15.6m/s (横浜) 降水量 (30～2 日,mm) 相模湖 187 相模原 171 日 吉 76 丹沢湖 117 海老名 120 横 浜 78 平 塚 113 辻 堂 94 箱 根 346 小田原 120 三 浦 93
平 16.10.9 ～10	風 水 害 (台風 2 2号)	死者 1 重傷 9 軽傷 34 住家全壊 3 半壊 19 一部損壊 972 床上浸水 1,074 床上浸水 1,416 非住家 79 文教施設 15 道路 92 橋りょう 1 がけ崩れ 185 鉄道不通 6 被害船舶 5 水道 1,100 電気 77,000	フィリピンの東海上で発生した台風 22 号は、9 日 16 時頃伊豆半島に上陸し、17 時に横須賀市府付近を通り、千葉県から茨城県を経て関東の東海上へ抜けた。 最低気圧 983.6hPa 最大風速 19.8m/s (横浜) 降水量 (8 日 8 時～9 日 24 時,mm) 相模湖 320 相模原 311 日 吉 305 丹沢湖 260

年月日	種別	被害状況	気象概要
		ブロック塀 17 り災世帯 1,253 り災者数 2,759 被害総額 399,471 千円	海老名 280 横 浜 263 平 塚 245 辻 堂 257 箱 根 392 小田原 289 三 浦 170
平 16.10.20 ～21	風 水 害 (台風 2 3号)	死者 1 重傷 1 軽傷 1 住家一部損壊 29 床上浸水 45 床上浸水 132 非住家 4 文教施設 3 道路 14 河川 1 がけ崩れ 50 水道 150 電気 2,100 ブロック塀 6 り災世帯 67 り災者数 150 被害総額 66,005 千円	マリアナ諸島で発生した台風第 23 号は、高知県土佐清水市府付近に上陸し、21 日 1 時から 3 時頃神奈川県に最も接近し、3 時に温帯低気圧に変わり、6 時に千葉県の犬吠埼の東海上に抜けた。 最低気圧 998.80hPa 最大風速 14.5m/s (横浜) 降水量 (19 日 9 時～21 日 9 時,mm) 相模湖 186 相模原 241 日 吉 235 丹沢湖 179 海老名 188 横 浜 206 平 塚 158 辻 堂 204 箱 根 207 小田原 189 三 浦 123
平 16.12.4	風 害	重傷 2 軽傷 8 住家一部損壊 203 非住家 5 道路 5 がけ崩れ 1 鉄道不通 1 電話 581 電気 47,057 ブロック塀 1 被害総額 27,041 千円	東シナ海で発生した低気圧が発達しながら九州、四国を通り、北陸地方を経て東北地方南部に進んだため、県内は暴風に見舞われた。
平 18.10.6	風 水 害	重傷 1 軽傷 4 住家一部損壊 3 非住家 1 道路 1 がけ崩れ 4 電気 3,899 ブロック塀 12 被害総額 475 千円	本州南岸に停滞した前線を低気圧が発達しながら北東に進み、日本の南にある熱帯低気圧からの湿った空気がこれらの前線や低気圧に流れ込んで雨雲が発達し、県内では 5 日から 6 日にかけて西部を中心に大雨となった。 また、低気圧が発達したため、6 日にやや強い風が吹いた。 降水量 (5 日 5 時～6 日 22 時,mm) 相模湖 186 相模原 192 日 吉 140 丹沢湖 66 海老名 132 横 浜 150 平 塚 76 辻 堂 96 箱 根 192 小田原 56 三 浦 84
平 19.9.6 ～7	風 水 害 (台風 9号)	行方不明 2 重傷 5 軽傷 9 住家半壊 1 住家一部損壊 62 床上浸水 38 床上浸水 63 非住家 9 文教施設 16	南鳥島近海で発生した台風第 9 号は、5 日 9 時には、中心気圧 965hPa、最大風速 35m/s まで発達し、強い勢力を保ったまま、伊豆諸島の西を北上した。

年月日	種別	被害状況	気象概要
		道路30 橋りょう2 河川11 港湾9 砂防6 がけ崩れ14 被害船舶1 電気38,123 ブロック塀5 り災世帯42 り災者数87 被害総額 1,183,555千円	7日午前0時前に静岡県伊豆半島南部に上陸後、神奈川県西部を通過したため、県内は大雨と暴風に見舞われた。 降水量(5日4時～7日14時,mm) 箱根652 相模湖305 丹沢湖299 相模原229 小田原164
平20.8.28 ～31	風水害 (8月末豪雨)	軽傷1 住家半壊1 住家一部破損2 床上浸水27 床下浸水141 文教施設1 道路70 橋りょう2 河川25 砂防3 がけ崩れ49 水道12 電気26,620 ブロック塀1 被害総額 599,245千円	8月28日から30日にかけて本州上に停滞していた前線に向かって南から非常に湿った空気が流れ込み、連日県内の所々で雷を伴った非常に激しい雨や猛烈な雨が降った。 降水量(27日22時～31日2時,mm) 海老名220 相模原180 相模湖169 辻堂160 丹沢湖155.5 箱根154.5 日吉145 平塚130 三浦109.5 小田原81
平21.8.10 ～11	風水害 (台風9号)	重傷1 住家一部破損3 床上浸水2 床下浸水14 がけ崩れ3 道路3 河川1 電気5,694 ブロック塀1 被害総額 16,465千円	台風第9号が紀伊半島の南海上に北上し、神奈川県には南から非常に湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となった。 降水量(9日21時～11日14時,mm) 丹沢湖187 辻堂144.5 箱根125 日吉115 相模湖113 三浦106 山手町105
平21.10.7 ～8	風水害 (台風18号)	重傷3 軽傷14 住家一部破損56 床上浸水15 床下浸水96 非住家1 文教施設3 がけ崩れ14 道路11 河川3 港湾9 船舶9 電気7,899 ブロック塀7 被害総額 365,660千円	台風18号が、午前5時過ぎに愛知県知多半島付近に上陸し、上陸後は関東地方から東北地方と暴風域を伴いながら本州を縦断した。 降水量(5日13時～8日13時,mm) 山手町208 相模湖207.5 箱根200 日吉190.5 相模原174 三浦171 丹沢湖164.5 海老名152 辻堂146 小田原134 平塚99
平22.9.8	風水害 (台風9号)	重症2 軽症1 住家半壊2 住家一部破損3 床上浸水18 床下浸水315 道路63 がけ崩れ28 河川6 橋りょう2 電気592 電話3 水道95 被害総額 2,118,013千円	台風第9号は、8日11時過ぎに福井県敦賀市付近に上陸し、15時に静岡県付近で熱帯低気圧に変わった。 また山北町丹沢湖では、1日の雨量が495.5mmを記録し、日最大降水量を更新。また、小田原でも238.5mmを記録し、日最大降水量を更新した。 降水量(8日3時～8日23時,mm) 丹沢湖495.5 小田原238.5 箱根180.0 平塚116.5

年月日	種別	被害状況	気象概要
			辻堂111.5 相模湖80.5 相模原62.5 海老名76.0 横浜81.0 三浦69.5 日吉48.0
平22.12.2 ～3	風水害	住家半壊2 住家一部破損234 床上浸水65 床下浸水176 非住家5 道路15 がけ崩れ12 電気154 ブロック塀23 り災世帯1 り災者数3	前線を伴った低気圧が、急速に発達しながら日本海を北東に進み、この低気圧からのびる前線の影響で、大雨や突風が吹いた。 なお、横浜気象台は突風による被害について、鎌倉市、藤沢市に現地調査を行い、鎌倉市の突風をもたらした現象は竜巻であると推定した。 降水量(2日19時～3日11時,mm) 海老名144.0 平塚117.5 小田原94.5 横浜92.5 箱根92.0 辻堂87.5 日吉85.0 相模原81.5 相模湖56.5 丹沢湖55.5 三浦43.5
平23.9.19 ～21	風水害	死者3 重傷10 軽傷131 住家半壊5 住家一部破損1,299 床下浸水1 非住家17 文教施設73 道路7 河川7 港湾83 崖くずれ17 鉄道不通3 被害船舶1 水道332 電気406,407 ブロック塀41 被害総額 1,957,679千円	台風第15号が本州の南海上に北上し、強い勢力を維持しながら、21日静岡県に上陸した後、関東地方を縦断した。このため、県内では19日夜のはじめ頃から雨が降り始め、20日夜から21日にかけては雨が強まった。また、風も21日午後から強まり、夕方には最大風速20m/s前後となった。 降水量(19日20時～21日20時,mm) 相模湖281.5 相模原中央211.0 日吉147.5 丹沢湖339.5 海老名163.0 平塚117.5 辻堂148.0 箱根368.5 小田原221.0 三浦市134.5
平24.9.24 ～25	風水害	重傷1 軽傷9 河川1 がけ崩れ1 電気1 鉄道不通1 被害総額 12,466千円	東北から湿った空気が入ったため、横浜、川崎、三浦半島で大雨となった。この影響で、25日午前0時ごろ、横浜賀賀市の京浜急行追浜駅から田浦駅の間にあるトンネルの手前で土砂崩れが発生し、土砂に乗り上げた特急電車が脱線、負傷者が発生した。 降水量(24日19時～25日5時,mm) 相模湖1.5 相模原中央5.0 日吉47.5 海老名23.5 山手78.0 平塚5.0 辻堂12.5 箱根0.5 小田原0.5 三浦市5.0

年月日	種別	被害状況	気象概要
平 25. 4. 6	風水害	死者1 軽傷11 住家全壊2 住家一部損壊12 床上浸水91 床下浸水191 非住家41 畑流出・埋没0.1ha 道路89 河川14 がけ崩れ29 電気1,400 ブロック塀等7 被害総額67,336千円	本州の沿岸と日本海を前線を伴った低気圧が発達しながら東進し、県内では6日から7日にかけて風雨が強まった。 降水量(6日6時～7日8時,mm) 相模湖 98.5 相模原中央 115.5 日吉 149.0 丹沢湖 137.0 海老名 229.5 山手町 100.0 平塚 119.0 辻堂 95.5 箱根 158.0 小田原 116.5 三浦 49.0
平 25. 10. 15 ～16	風水害 (台風26号)	死者2 行方不明1 重傷3 軽傷13 住家一部破損133 床上浸水1 床下浸水19 非住家3 学校1 道路26 河川1 がけ崩れ15 鉄道不通1 電気6,127 ブロック塀等5 被害総額83,697千円	台風第26号が16日明け方に関東地方沿岸に接近し、その後、関東の東海上を北上したため、県内では15日から16日にかけて風雨が強まった。 降水量(15日6時～16日12時,mm) 相模湖 188.5 相模原中央 205.5 日吉 211.5 丹沢湖 113.0 海老名 188.5 山手町 227.0 平塚 129.0 辻堂 171.0 箱根 210.5 小田原 139.5 三浦 240.5
平 26. 10. 4 ～6	風水害 (台風18号)	死者2 行方不明1 重傷1 軽傷10 住家全壊1 住家半壊1 住家一部破損27 床上浸水383 床下浸水609 非住家6 学校11 道路83 河川11 崖くずれ173 鉄道不通3 被害船舶20 電気5,112 ガス1 被害総額1,270,789千円	関東付近に停滞した前線の影響で、県内の一部で4日の夜から雨が降り出し、その後、台風第18号が接近・通過した6日の昼前に風雨が強まった。 降水量(4日18時～6日12時,mm) 相模湖 244.0 相模原中央319.0 日吉 342.5 丹沢湖 257.0 海老名 372.0 山手町 352.0 平塚 353.5 辻堂 253.0 箱根 361.0 小田原 324.0 三浦 183.0

* 気象データは横浜地方気象台提供。最低気圧、最大風速は横浜地方気象台における当該期間の極値で、最低気圧は最低海面気圧を指す。

2 地震災害

年月日	種別	被害状況	地震概要
昭 58. 8. 8	地震	山地では落石が起こり、死傷者が出たのをはじめ、県西部から中央部にかけて及び横浜市内等で多くの住家等の被害が発生した。 死者1 重傷5 軽傷18 住家一部破損674 非住家19 文教施設18 道路67 水道16 清掃施設1 ブロック塀等59 停電240,000	12時48分頃、神奈川・山梨県境付近でマグニチュード6.0の地震が発生し、横浜の震度は4であった。 震度4 東京、甲府、三島
平 17. 7. 23	地震	特徴的な事柄としては、エレベーターが緊急停止したことによる閉じ込め、鉄道各社の安全点検実施による運行の遅れで一時的に多くの人が駅に滞留、携帯電話等の規制による通話障害等が発生した。 軽傷9 住家一部破損7 公共建物1 その他非住家3	16時34分、千葉県北西部の深さ73kmを震源とするマグニチュード6.0の地震が発生した。県内では最大震度5弱を観測した。 震度5弱 横浜市、川崎市 震度4 横須賀市、鎌倉市、茅ヶ崎市、三浦市、海老名市、綾瀬市、葉山町、寒川町、二宮町、小田原市、相模原市、厚木市、愛川町
平 19. 10. 1	地震	震度5強を観測した地震であったが、負傷者が2名、住家の屋根瓦や壁が破損するなどの一部破損被害が5棟あった。周辺の宿泊施設では、エレベーターが自動停止したが事故等はなかった。 軽傷2 住家一部破損5 水道214	午前2時21分ころ、神奈川県西部を震源地とするマグニチュード4.9の地震があり、箱根町で震度5強、小田原市で震度5弱を観測した。 震度5強 箱根町 震度5弱 小田原市 震度4 真鶴町
平 21. 8. 11	地震	震度4を観測した地震であったが、負傷者が4名、住家の一部破損被害が1棟あった。 また、がけ崩れが発生し、道路が一時通行止めとなった。 軽傷4 住家一部破損1 道路1 がけ崩れ1 水道960	午前5時07分、駿河湾の深さ23kmで、マグニチュード6.5地震が発生した。静岡県で最大震度6弱を観測したほか、神奈川県内では川崎市及び伊勢原市で震度4、横浜市などで震度3、を観測した。 震度4 川崎市、伊勢原市 震度3 横浜市、相模原市、厚木市、中井町、愛川町

年月日	種別	被害状況	地震概要
平 23. 3. 11	地震	<p>県内で5名の死者が出たのをはじめ負傷者130名、多数の住家被害とともに、横浜市、川崎市などで液状化の被害が発生した。</p> <p>死者 5 重傷 17 軽傷 117 住家半壊 39 住家一部破損 454 その他非住家 13 道路 160 橋りょう 1 河川 12 がけ崩れ 2 水道 2,562 電気 1,028,612 ガス 389 文教施設 201 病院 2 鉄道 22 港湾・漁港 93 ブロック塀 139 火災 6</p>	<p>11日14時46分頃、三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）深さ約24km、マグニチュード9.0の地震が発生、宮城県栗原市で最大震度7を観測した。</p> <p>県内震度は以下の通り。 震度5強：横浜市中区、川崎市川崎区、寒川町、二宮町、小田原市 震度5弱：川崎市幸区、川崎市中区、川崎市宮前区、平塚市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、相模原市中央区、相模原市南区、相模原市緑区</p> <p>震度4：横浜市区、横浜南区、横浜港北区、横浜市戸塚区、横浜市旭区、川崎市高津区、川崎市多摩区、川崎市麻生区、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、三浦市、葉山町、大磯町、小田原市、秦野市、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、愛川町、清川村</p> <p>また、14時49分に発表された津波注意報は15時30分に津波警報となり、16時08分には大津波警報となった。その後、翌12日13時50分に津波注意報となり、さらに翌13日7時30分に解除となった。</p>
平 23. 3. 15	地震	<p>東日本大震災の余震と見られる地震で、県内で負傷者7名、住家一部破損1棟の被害があった。</p> <p>軽傷者 7 住家一部損壊 1 火災 1 がけ崩れ 4 水道 11</p>	<p>15日22時31分頃、静岡県東部（北緯35.3度18.5分、東経138.7度）深さ14kmマグニチュード6.4の地震が発生し、静岡県富士宮市で震度7を観測した。</p> <p>県内震度は以下の通り。 震度5弱：小田原市、山北町 震度4：横浜市中区、戸塚区、港南区、泉区、川崎市中区、平塚市、茅ヶ崎市、海老名市、綾瀬市、寒川町、二宮町、秦野市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、開成町、愛川町、清川村、相模原市中央区、緑区</p>

3 特殊災害

年月日	場所	種別	主な被害	原因状況等
昭 26. 4. 24	横浜市中区桜木町1-1 国鉄京浜東北線終点 桜木町駅構内線路上	国鉄火災 事故	死者107 重軽傷88	13時44分頃、架線工事中1,500Vの架線が溶断垂下したところに赤羽登桜木町行5両編成の1171B電車が差しかかりパンタグラフがこれに接触発火し、乗客を避難させる暇なく、第1車両全焼、第2車両が半焼し、午後2時頃鎮火した。
昭 30. 2. 17	横浜市戸塚区原宿町75 聖母園トリック教会 養老院	養老院 火災事故	死者98 重軽傷7 建物全焼 2棟、955坪	4時20分頃、懐炉灰の不始末により発火したものと認定されており、居住者は中風、神経痛等足腰の不自由な老人だったことと、二階で寝ており非常口がなかったこと、消火栓、防火水槽が不備だったこと等のため、火が一瞬に拡がり焼死者が続出するに至った。6時30分鎮火。
昭 34. 11. 20	横浜市金沢区釜利谷町1 東洋化工練横濱工場	火薬工場 爆発事故	死者3 重軽傷591 全壊(焼)39 半壊(焼)118 一部損壊(焼) 1,060	10時40分頃、米軍松下廃弾より分離したTNT火薬の脱色試験中発火し、室内の爆薬に引火、爆発は全工場に波及し、被害は同工場から半径1.5kmの範囲に及んだ。翌日6時30分鎮火。
昭 34. 12. 11	横浜市神奈川区子安台 53番地先国道1号上	火薬積載 トラックの交 通事故に よる爆発	死者4 負傷者109 全壊36 半壊123 一部損壊385	4時45分頃、千葉県工場からTNT火薬4tを積載して運搬していたトラックが、前方より進行してきた砂利運搬車と衝突し、火薬が爆発した。
昭 37. 2. 12	横浜市神奈川区七島町 35 昭 37. 2. 12 災害救助法適用	火災	民家全焼77 り災世帯165 り災者数600	14時5分頃、火の不始末のため発災し、住宅密集地域に延焼した。
昭 37. 11. 18	京浜運河(横浜4区)鶴見 路上扇島前面 K1 浮標付 近	船舶衝突 事故	死者40 負傷者11 船舶 全焼3 一部焼損1 積荷焼失 ガolin 800kl 生ゴム65t	8時12分頃、左記事故発生場所付近の岸壁から出港しようとしていたプロビック号が、入港してきた第1宗像丸の船腹に衝突し、同船積荷のガolinが海面等に流出して発火、同船が炎上し、付近を航行中の太平丸、宝栄丸の両船も炎上したものと推定されている。
昭 38. 11. 9	横浜市鶴見区生麦町224	列車衝突 事故	死者161 重傷40 軽傷39 貨物車大破3 客車大破4	21時50分頃、下り貨物列車が事故現場付近に差しかけた際に後部3両が脱線し、上り東海道線の軌道上に傾いて停車した。同時刻下り横須賀線電車が進行してきたが、前記貨車の脱線による架線の動揺により異常なスパンが出

年月日	場所	種別	主な被害	原因状況等
				たためパンタグラフを降ろし停車した。直後、横須賀線より東京行電車が現場に進入し前記貨車に衝突、その反動で前記下り横須賀線電車が衝突した。
昭39.9.8	大和市上草柳 217-4	米軍機墜落	死者5 負傷者3 全壊2 一部損壊1	10時40分頃、米軍機が墜落し、人的被害の他、家屋、その他物置小屋屋根、窓、山林、畑に若干の被害が出た。
昭40.5.5	相模原市上鶴間 米軍家族住宅内	米軍機墜落	死者2 軽傷8 全壊3	21時50分頃、米軍ジェット戦闘機が墜落し、宿舍居住の幼児2人が即死、家屋が全壊し、付近の日本人家屋にも若干の被害が出た。
昭40.6.26	川崎市久末1,527～ 1,530 一帯	土砂(石炭灰)崩落	死者24 重軽傷17	21時50分頃、現場付近の丘陵地帯に堆積していた土砂(石炭灰)に前日来の降雨や自然湧水によって、かなりの水分が浸透し、集積層内部で自壊作用を起こし、約25万m ³ の石炭灰が地すべり状に流出して人家を埋没した。
昭40.8.3	横浜市鶴見区小野町 10番地一帯 昭40.8.3 災害救助法適用	火災	負傷者21 全焼38 半焼6 り災世帯120 り災者数434	1時10分頃、会社員宅から出火、付近は粗悪住宅及び木工集積場のため火勢が急速に拡大し、かつり災活動もはかどらなかったため、アパートや工場等多くの建物が全半焼した。
昭41.1.9	川崎駅前本町2-1 金井ビル	ビル火災	死者12 全焼650㎡	0時58分頃、地下1階、地上6階建ての3階従業員更衣室から出火、逃げ遅れた従業員等が一酸化炭素中毒により死亡した。
昭46.1.24	横浜市鶴見区小野町 17番地一帯	火災	死者3 負傷者5 全焼29 半焼1 り災世帯84 り災者数258	9時31分頃、夫婦喧嘩をして部屋に石油をまき散らし、石油ストーブを倒したため出火。当地域は木造粗悪住宅が密集し、路地が狭く消火活動が困難を極めた。また各家庭に備えられたプロパンガスが延焼を助長した。
昭52.9.27	横浜市緑区荏田町	米軍機墜落	死者2 重傷3 軽傷4 全焼2 損壊3	厚木海軍飛行場から離陸し、洋上の空母に向かって飛行中の米軍偵察機が、13時19分頃、墜落・炎上し、幼児2人が死亡、家屋全焼2棟等の被害が出た。なお、死亡した幼児の母親も、重傷で入院し治療にあっていたが、昭和57年1月に死亡した。
昭63.2.9	足柄郡湯河原町、真鶴町 小田原市	林野火災	林野被害 201ha	日本海を発達した低気圧が東進し、これに南から暖かい空気が

年月日	場所	種別	主な被害	原因状況等
	出火場所 湯河原町吉浜 宇黄金松 2030-22		全焼8 一部焼損2 最終処分場等	吹き込み、県内全般に強い南西寄りの風が吹き荒れた。この状況下で、10時6分頃、たき火の残り火の不始末から出火し、強風と乾燥のため火勢は次第に強まり、真鶴町、小田原市の一部にも延焼した。鎮火は、小田原市側17時4分、湯河原町側19時であった。
昭63.7.23	東京湾横須賀東北 防波堤東灯台から110度 (東南東方向)1.7海里 付近	船舶衝突 事故	死者30 船舶沈没1 潜水艦損傷1	15時38分、横須賀基地へ帰投中の海上自衛隊潜水艦なだしおと、客39人を乗せた遊漁船第一富士丸が衝突した。
平9.7.2	横浜市本牧沖約6km 中ノ瀬付近海域	油流出	原油流出 1,550kl 異臭通報 21件	10時5分頃、パナ船籍の原油 tanker「ガバメント・グレース号」が、左記海域で底触、破損し、原油が流出した。一部が横浜市、川崎市の岸壁に漂着した。
平12.8.30	横須賀市内川 スクラップ加工処理工場	爆雷事故	負傷1 周辺工場・民 家・車両等 221件	県横須賀第二老人ホームの建物除却工事中に、請負業者が地中からドラム缶状の埋設物を発見し、スクラップ加工処理業者に引き渡した。同処理業者が処理のため裁断したところ爆発し、従業員1名が負傷、周辺にも被害が発生した。後日、この埋設物が旧日本軍の爆雷であることが判明した。
平15.11.5	大和市下鶴間 大型ショッピングセンター	火災	重傷1 軽傷10	5時9分頃、大和市内大型ショッピングセンターの生ごみ処理室の火災消火活動中に爆発が発生した。爆風により吹き飛んだ外壁と外溝フェンスに挟まれ、警備員、警察官及び消防職員の計11人が負傷した。